

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-610	22-074	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Alcohol Consumption and a Decline in Glomerular Filtration Rate: The Japan Specific Health Checkups Study アルコール摂取と糸球体濾過量の低下：日本特定健康診査研究		
執筆者		
Kimura Y, Yamamoto R, Shinzawa M, Aoki K, Tomi R, Ozaki S, Yoshimura R, Shimomura A, Iwatani H, Isaka Y, Iseki K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Asahi K, Watanabe T, Yamagata K,		
掲載誌		
Nutrients. 2023 Mar 22;15(6):1540. doi: 10.3390/nu15061540.		
キーワード		PMID
アルコール摂取、用量依存関係、疫学、糸球体濾過量、後ろ向きコホート研究		36986270
要旨		
<p>目的：アルコール摂取が糸球体濾過量（GFR）に及ぼす臨床的影響について相反する結果が報告されている。本研究では、アルコール摂取と推定 GFR（eGFR）の傾きとの用量依存的関連を評価することを目的とした。</p> <p>方法：2008 年 4 月から 2011 年 3 月までに年 1 回の健康診断を受診した 40～74 歳の 304,929 人を対象とした。中央値 1.9 年の観察期間中のベースライン飲酒量と eGFR 勾配との関連を、交絡因子を調整したランダム切片とランダム勾配の線形混合効果モデルを用いて評価した。</p> <p>結果：男性では、まれな飲酒および 60g/日以上以上の飲酒者で、60g/日未満の飲酒および機会飲酒者に比べて eGFR の低下が有意に大きかった。女性では、まれな飲酒者のみが機会飲酒者より eGFR の低下が大きかった。</p> <p>結論：男性において、アルコール摂取量と eGFR 勾配は逆 U 字型に関連していたが、女性では関連していなかった。</p>		